



公明党 市川陽子 議員

安心・安全なまちづくりについて

問 ブロック塀の緊急点検で、敷地内にブロック塀がある学校のうち、安全性に問題があるとされた17力所のブロック塀等の工事着手までの期間、安全確保の対応はどうか。

答 教育部長 市民の方々にも影響がある道路や、学校敷地内でも、児童や生徒が通る箇所に、注意喚起の張り紙と先生方の指導をお願いしています。

問 早急な安全確保はどうか。

答 教育部長 撤去や改修のための見積りが出次第、早急に対応していきます。

問 各通学路の安全点検調査は9月に再度合同点検を行うとありますが、『学校防災マニュアル』に基づき、改めて確認すべきと考えますがどうですか。

答 教育部長 全ての学校に、交通安全だけでなく、自然災害の視点も

考慮したマニュアルとして見直しを図るよう指導します。

問 生垣設置助成制度とは別に、塀の撤去に特化した助成制度を検討しているとのことですが、安心・安全なまちを目指し、法律で定められた点検ポイントを所有者に理解してもらい、多くの皆さんに活用されるよう努めてはどうですか。

答 市長 通学路における安全管理や児童生徒の安全教育、安全確保強化を徹底するため、各学校の実情に応じた防災マニュアルの作成が必要だと考えます。

また、交付金を活用した危険ブロック塀撤去事業を推進していきます。



問 運動公園及び公園の遊具の状況について伺います。

答 都市整備課長 今年度、公園施設長寿命化計画を策定し、平成32年度以降に計画的な保全を行っていきます。昨年度に公園施設の健全度調査を実施しています。

問 成東総合運動公園では「遊具劣化により危険なため、使用を禁止します」とロープで囲っている遊具がありますが、健全度調査の結果はどうですか。

答 教育部長 要経過観察のBラ

ンクは、駐車場内のバスケットゴール1基。要修繕・要対策のCランクは、多目的広場、遊びの広場エリアの健康遊具5基、すべり台、キノコハウス。要緊急修繕・要更新のDランクは、健康遊具2基、スプリング遊具4基となっています。

問 2年間で、劣化した遊具による事故が起きないか危惧されます。修繕改修を早急に行うのはどうですか。

答 市長 市内外から大勢の皆さんが来園されます。来園者が劣化した遊具を誤って使用した事故が発生することがないように、安全対策を実施した上、できるだけ早い時期に遊具の更新整備を進めます。

教育施策について

問 平成27年度に山武北小学校児童と市長の意見交換、28年度に成東中学校と市長の意見交流会が開催されています。参加された教育長の見解はどうですか。

答 教育長 代表者だけでなく、幅広く多くの児童生徒の意見を聞き、深めることができました。小学生の前向きな姿や市の将来を考える気持ちと市政を身近に感じ、地域社会に積極的に参加しようと思ってくれたことは、大きな成果だと思います。

問 もう一步深めて、市議会の仕

組みを、議場にて実感し、自分たちの地域の問題を提案して、まちづくりに参加した喜びを、小さい時から感じていただきたいと思っています。

県内38市での子ども議会開催状況調査の結果では、現在、31市で開催しています。対象者は、中学生が12市で最も多く、次に小中学生が9市。各年のところもあります。ぜひ、中学生議会を導入してはどうですか。

答 市長 未来を担う市の子どもたちが夢を育み、地域や日本、世界について考え、よりよい方向に行動できるように、周りの大人が深く関わっていくことが重要です。

さまざまなスタイルがあるものと考え、開催は意見交換会がよいのか、議会形式がよいのか、教育委員会と協議し、考えていきます。



市内小学校で開催された市長との意見交換会